

ロボコン2011近畿地区大会 優勝&準優勝を独占!



ロボコン地区大会を終えて

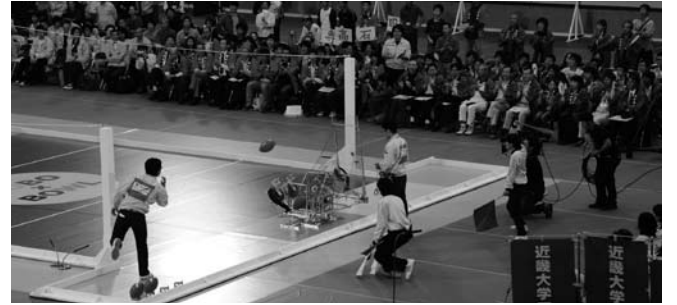
電子制御工学科3年 中川 千代之介

2011年10月23日、大阪府 近畿大学記念会館にて今年の高専ロボコンは行われました。僕はAチームのピットメンバーとしてロボットの整備を担当していました。当日、準決勝で奈良高専Aチームは因縁の大阪府立高専を、Bチームは二連覇中の強豪和歌山高専を破り、決勝戦は奈良高専初、地区大会同校決勝戦という最高のシチュエーションを迎えることになったのです。



NHK高専ロボコンコンテストのルールは大体5月くらいに発表されます。それからプロジェクトに参加する学生の5か月間に及ぶ戦いが始まります。アイデア会議から始まり、設計して作り上げてからはいかにロボットを安定して動かし、いかにロボットを速く動かすために改良に改良を重ねて、僕たちは地区突破はもちろん、全国制覇を目指したロボットを製作していきます。時には成功し、時には失敗し、原因を考えては全力で立ち向かっていきました。そのノウハウはロボコンプロジェクト発足以前からの先輩たちが研究してきた技術を継承しています。僕たちのロボコンは先輩たちの努力の基に成り立っているのです。特に昨年、全国最速のマシンを作り上げたものの優勝を果たせずに無念の卒業をした先輩たちの思いを僕たちは背負っていました。そして迎えた同校決勝。AとBは同じプロジェクトの仲間であり、最大のライバル。お互い手内は完全に知り尽くして、ある意味では一番戦いたくなかった相手、この時点で奈良高専の優勝は決まっていたが負けるわけにはいきませんでした。Aチームの主力は5年生で、先輩たち最後のロボコンです。選手でない僕はピットメンバーとしてマシンに最高の整備を行うだけでした。そして試合結果はAチームの優勝! その瞬間、僕は同じピットの先輩たちと抱き合い、激しく喜び合いました。あまりの嬉しさに先輩の眼鏡が壊れるほどです。

今年は朝練も始まったうえに、僕たちは夜遅くまで活動しているので保護者への負担もとても掛かっています。先生方の支援や他にも、たくさんOBの方々から差し入れもいただいています。多くの方々からの協力と支えで奈良高専のロボコンが成り立っていることに感謝の気持ちでいっぱいです。今、国技館の全国大会に向けてロボットの改良をしています。地区大会優勝はただの通過地点。言わば予定通りです。皆さんの応援に応えるためにも全国最強を目指し近畿高専初の全国優勝をします。



第45回高専祭



第45回高専祭を終えて

第45回高専祭実行委員長 情報工学科4年 梶田 吏樹

第45回高専祭は2日間に渡って悪天候に見舞われましたが、無事に終了することができました。本高専祭には約2000人という大勢の来場者数にお越しいただきました。お越しいただいた皆様、またご協力いただいた学生の皆様、教職員の方々、本当にありがとうございました。

悪天候にも関わらずステージで行われた企画も大変盛り上がり、模擬店や科展も大盛況で多くの方々に楽しんでいただけたようです。吹奏楽部の演奏会や、本年度より始まった学生チャレンジプロジェクトによる演劇「星の王子様」も大成功を収めました。高専祭全体を通して大きな事故もなく、多くの来場客の方々に喜んでいただけたことに感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。

これまで高専祭に実行委員として携わってきて4年目となる今年度、委員長を務めさせていただきました。委員長には寮生が務めることが多かった中、通学生である私が委員長を務めることができるのかと最初は不安の気持ちでいっぱいでした。しかし高専祭実行委員、教職員の方々を支えられて高専祭を無事成功させることができました。実際、実行委員をこの4年間続けてみて辛いことやしんどいことも多々ありました。しかし毎年、高専祭を終える度に「実行委員をやってよかった」と実感します。

私は委員長という役職の中で今年度の高専祭を終えましたが、役職についていない人たちも得たものは必ずあると思います。現に私もこれまでの3年間、部員と共に頑張ったことで数多くの事を学び、多くの仲間を得ることができました。

今年実行委員に参加してくれた人はもちろんのこと、今年度は実行委員に参加できなかった学生の皆さん、来年度奈良高専に入学しようと考えている方々は是非実行委員会や有志の一員となり、奈良高専の文化祭である「高専祭」を盛り上げていってください!!

